

一般質問通告書

N01

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

平成 29 年 11 月 22 日

東村山市議会議長 様

議席番号 3 番

質問者 かみまち弓子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>ICシステムを使って防犯パトロール犯罪対策を強化</p> <p>東京都府中市で今月11月1日から児童の位置情報を保護者にメールで伝える見守る小学生対象の『ITで見守り実証実験「tepcotta (テプコッタ)』』を始めたことで、東村山市議会 民進党会派で11月14日に視察にお伺いした。このシステムは渋谷区でも7月から始まり、子どもや高齢者の安全を見守ることのできるシステムである。</p> <p>府中市では市立小学校3校の児童を対象に4カ月間運用し、来年3月以降の本格導入を目指すものである。</p> <p>見守られる子どもやご高齢の方は、いつも持ち歩くものに専用の見守り端末をつけて歩くだけで専用の見守り端末から常時電波が出ている。</p> <p>その電波をキャッチする見守りネットワークを見守り基地局と専用アプリをインストールしたスマートフォンを持っている人(見守り人)で作るシステムである。</p> <p>市民の方々ご自身が基地局となる点は興味深く、「地域のみんで見守る」チカラを感じたことで、視察を元に以下伺う。</p>
	<p>① このシステムは東京電力ホールディングス(千代田区)と防犯サービス開発・運営会社「otta (オッタ) (福岡市) が開発したシステムであり、実証実験は来年2月末まで、市立小学校3校の1～3年生約900人が参加し、4～6年生の希望者も参加できるものである。実験中の児童、保護者の費用負担はないこのシステムを当市でもぜひ導入するためにも、まずは小学校の保護者にアンケートをとってほしい。いかがか見解を伺う。</p>
	<p>② 27年6月議会において「ICタグの導入につきましては、運営母体が、各小学校のPTA等が主体的になっております。教育委員会といたしましては、保護者への直接のアンケート調査を行うことは予定していないところでございます。ただ、こういうシステムがあることを保護者に知らせていくことも必要かなとは考えておりますので、その辺も検討させていただきたいと思っております」と当時の教育部長から答弁頂いた。その進捗状況と内容、課題を伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>③ 27年6月議会において「ICタグの導入につきましては、先ほども答弁させていただいたとおり、運営母体が、各小学校のPTA等が主体的になっております。教育委員会といたしましては、保護者への直接のアンケート調査を行うことは予定していないところでございます。ただ、こういうシステムがあることを保護者に知らせていくことも必要かなとは考えておりますので、その辺も検討させていただきたいと思っております」と当時の教育部長から答弁頂いた。その進捗状況と内容、課題を伺う。</p>
	<p>④ 28年の12月議会で登下校時の子供たちの安全確保策について当時の教育部長に「27年6月議会の一般質問でさせていただいた前と後で、児童の登下校及び児童クラブからの帰宅ですとか、安全確保の方策について変化はあるでしょうか」と伺ったところ「見守り事業の安全確保の方策に特に変化はございませんが、第4次総合計画にのっとり、平成25年度から平成27年度にかけて、児童通学確認員を下校時に配置できていなかった学校に対して順次配置を行い、平成27年度に、小学校全校の登下校時にシルバー人材センターへ委託しております児童通学確認員の配置を完了し、安全確保のさらなる充実に努めているところでございます。児童クラブにつきましては、同様に変化はございませんが、本年4月の不審者対応として、臨時職員を3名増員し、児童の帰宅時の見守りを強化し、安全確保に努めたところでございます」と答弁頂いた。</p> <p>その後についても「周辺の道路や交通環境の変化等に対して情報収集するとともに、関係機関と危険箇所の改善策について協議しながら、児童の安全確保に努めてまいりたいと考えております」とのことであった。児童の登下校、及び児童クラブからの帰宅など、安全確保の方策に工夫した点及び今後の対策を伺う。</p> <p>⑤ 28年12月議会でグリーンベルトの実施状況について伺った際「市内の市道の総延長が約277キロメートル、市道上のグリーンベルトが23路線で施工が約11.3キロメートル、約4.1%のグリーンベルト化となっております」と答弁頂いた。その後のグリーンベルトの進捗状況を伺う。また未実施のなか馬頭橋から浄水場西門前までの通学路にかかる場所のグリーンベルトも以前対応するとの答えだった。グリーンベルトは安全対策には欠かせない。合わせて進捗状況を伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	<p>9-</p> <p>⑥ 富士見3丁目45番地近辺の通学路にて11月8日に車と歩行者の高校生の接触事故が発生した。運転していた方が救急車を呼び病院で検査受けたとのことだった。以前にも同じ地点で車と自転車に乗っていた高校生の接触事故があり、自転車が大きく弧を描くように飛んだとのことだった。カーブミラーの角度調整や注意を促す看板を設置するなどが必要と思われる。市としてはその地点が危険箇所としての認識があるのか。今までどのような対策を伺ってきたか伺う。子どもや市民の安全を守るのは市の責務である。再発防止のさらなる安全対策について見解を伺う。</p>
	<p>⑦ 10月12日、富士見小学校の保護者によって朝の防犯パトロール中に、美住町のサイクリングロード手前に原付バイク乗り捨て、登校中の女子、3名の後ろにくっ付くように歩き両手にスマホ2～3台所持する30～40代の男性が不審行為ということで、警察に事情聴取を受けたことがある。どのタイミングで警察に通報するべきか考えてしまいがちだが即座に対応頂き、かつパトロールの重要性感じると保護者でも話しになった。</p> <p>とはいっても、決して児童、生徒、保護者、教職員、地域の方が危険なことにならないよう子どもたちの安全を守るために、市としてはどのような見解を持ちどのようにしていくのか。警察、シルバー、商店会、自治会、保護者、他地域の各団体や見守りに入っている方々、ふだんからたゆまない見守りをするなか、市として何ができ、どうしていくのか見解、並びに今後の計画を伺う。</p>
2	<p>中学校における防犯対策と不審者情報について</p>
	<p>第7中学校で9月16日土曜日に「交通安全教室・スケアードストレート」が開催された。スタントマンが身体を張って交通事故を再現し中学生に交通事故にあわない、起こさないためにルールを守ることの大切さを訴えかけるもので、スタントマンが迫真の熱演で自転車事故を再現するシーンを子どもたちや周りの保護者からは「本当に怖かった」と口々に声が挙がっていた。</p> <p>その後、先生、保護者、地域の方々との懇談会が行われ、東村山警察署の生活安全課の警察官の方から、犯罪に繋がらない、繋げさせないよう、もし不審者を見かけたり、セクシャルなことを言われたりした場合、すぐその場で警察に110番してほしいなど防犯対策のお話があった。警察に電話をためらわずに何かあったらすぐ掛けてほしいと力強く話されていたことで命の大切さと、身を守ることを考える機会となったことと思われる。そこで以下伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	① 地域での不審者情報や声掛け事案について市内公立中学校ではどのように生徒や保護者に伝えているのか伺う。
	② 生徒から不審者情報や声掛け事案について学校で先生方が相談された際、どのように対応をしているのか伺う。生徒との関係、学校内、及び教育委員会、警察との連携連絡等それぞれ伺う。
	③ 第7中学校では11月24日に地域パトロールを保護者や地域の方々と共に行ったところであるが、先生方、保護者、地域の方々含めた市内中学校の防犯対策やパトロール状況はどのように行っているのか伺う。
	④ 9月16日の懇談会の席で警察の方から地域の懸念される特徴を保護者から質問があったことで、東村山管内は東村山、清瀬を所轄するなか、他の地域よりも声掛け事案が多いとのことであった。性犯罪に繋がりがかねない声掛け事案対策として、当市では警察や地域、学校とどのように対策を講じているのか。現状と課題、今後の対策を伺う。
3	道徳地区公開講座と命の教育の取り組み
	<p>11月11日東村山市立第7中学校での、道徳地区公開講座は、38年前に東村山市立第4中学校に進学し、急性白血病により、13歳の生涯を閉じた由紀子さんのご両親、鹿村ご夫妻のお話を伺うものだった鹿村由紀子さんは、スポーツと絵を描くことが好きな13歳の中学1年生で将来の夢は漫画家だったこと。両親と弟の4人の家族と、級友たちとの楽しい生活を送っていらっしやったこと。病状が進行する状況に追い込まれた時、お母さまが、「交換日記」での交流を提案された。その交換日記には病気で苦しんでいるにも関わらず、ご両親への感謝や気遣いの気持ちの言葉でしたためられていたと…。残念ながら由紀子さんは短い生涯を終えられたものの、由紀子さんの書いたものをご両親が集め自費で本にされたところ、大きな反響を呼び映画化もされるほどに。由紀子さんのお話を1年生は伺い、感想文にした。</p> <p>公開講座の後、先生方や保護者、PTAさん、地区委員の方々と鹿村さんを囲んで意見交換会が行われた。いっぱい生きていくこと、照れがあっても一生懸命に生きていくことの大切さを感じたという生徒の感想を聞き、私たち保護者の胸にも、しっかりと伝わるものがあった。非常に素晴らしい道徳地区講座であったなか、以下伺う。</p>

番号	質問の項目と要旨
	① 『ユッコの贈り物』の映画を観てみたいという声が周りからもあるが、市内においての過去の上映の状況を今後を伺う。
	② 小学校でも道徳地区講座は非常に工夫された内容となっている。市内小中学校の道徳地区講座の取り組み内容を学校ごとに伺う。
	③ 道徳が教科となっていくなか、情緒を育てるとともに、見識豊かな学校生活を送るためにも小中学校における情報の取得も大切なこととなる。市内各小中学校ではどんな子ども新聞や通常の新聞を購読しているか。各校ごとの状況を伺う。